

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	安心して暮らせる安全で快適なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>男山地域の集合住宅は、築40年を数え、建替え等を検討する時期が来ている。また、この40年の間に高齢化をはじめ、そこに暮らす人々の生活も大きく変化しており、快適なまちづくりのために、地域全体のあり方を検討する必要がある。</p> <p>近年、高層マンションが増加、高齢独居世帯の増加等により、災害の多様化が憂慮されるため、消防設備の充実、災害時の支援が望まれている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>男山地域の再生について市民、事業者と協働し、将来を見据えた快適なまちづくりを促進する。</p> <p>公共施設や消防設備の整備のみならず、個人の住宅やマンション等の耐震化、建替等を推進。ソフト面でも災害時要支援者台帳を整備、市民や自治会等との協働による災害に強い安心・安全なまちづくりを目的とする。</p> <p>AEDの設置により、緊急事態への対応を可能とし、子どもから高齢者までの幅広い世代が安心して交流できる場所を提供する。</p>							
	総事業費（千円）	218,164	本年度事業費（千円）	198,580	交付金額（千円）	13,697		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	はしご付消防自動車整備事業	交付対象事業	現行車両老朽化に伴う更新 高層マンションに対応できる30m級梯子付消防車を整備			1台		
	広報車整備事業	交付対象事業	現行車両老朽化に伴う更新。市民と協働した年末警戒や街頭広報など、安心・安全のまちづくりを進める。			1台		
	防災活動用資機材等整備	交付対象事業	自主防災組織のため、防災活動用資機材・器具庫を整備 市民と協働して、災害対策を考えていく。			器具庫2棟整備、災害救助セット・担架等購入		
	災害時要援護者台帳作成事業	交付対象事業	災害時に支援が必要な障がい者、高齢者等の台帳登録を行い、自治連合会等との協働により支援・援護する。			登録申請者 513人		
	公民館耐震改修設計	交付対象事業	男山・橋本公民館耐震診断改修計画判定、男山・橋本公民館耐震診断			男山公民館、橋本公民館		
	AED整備事業	交付対象事業	やわた流れ橋交流プラザ、くすのき公園にAEDを設置			やわた流れ橋交流プラザ四季彩館研修棟1階、くすのき公園に設置		
	避難施設備蓄物資拡充事業	交付対象事業	東日本大震災の実態をふまえ、備蓄物資の見直しを図り、備蓄食糧に加え、避難施設の備蓄物資の拡充を図る。			仮設トイレ、畳シート、アルファ米、クラッカー、ビスケット購入		
	旧小学校体育館耐震化事業	交付対象事業	避難施設指定の旧小学校3校の体育館を耐震診断調査し、大規模災害に耐えうる避難施設としての整備を図る。			旧八幡第四小・旧八幡第五小・旧八幡東小学校体育館の耐震診断 各900㎡		
	災害時避難場所表示板整備事業	交付対象事業	少子高齢化の進行や市民の地域意識の希薄化などコミュニティ活動を取り巻く環境には厳しい側面も見られるが、東日大規模災害を想定した八幡市防災ハザードマップを改訂し、市民への避難場所等の周知を図る。			男山第三中学校設置分		
防災ハザードマップ作成	交付対象事業	「有馬・高槻構造線」による地震と東南海・南海地震の被害予測を初めて掲載			「有馬・高槻構造線」による地震と東南海・南海地震の被害予測を初めて掲載			
住民 協働 事業	男山地域活性化事業	交付対象事業	男山地域再生のための調査・検討			高さ制限、戸数、緑地率、周辺への影響等の調査、再生計画案の検討		
	分譲マンション建替検討助成	交付対象事業	分譲マンション建替えに向けた検討の初期段階での合意形成を進めるために行う基礎的な調査及び検討を実施。			1件		
	市民向け災害対策講座充実事業	交付対象事業	東日本大震災以降依頼が急増した市民向け講座に使用する避難所運営ゲームを購入し、市民参加型の講座を実施。			講座18件		
	木造住宅耐震診断事業	関連事業	耐震診断士派遣 診断結果をもとに改修計画の提案			耐震診断士派遣 19件		
	木造住宅耐震改修助成事業	関連事業	個人住宅の耐震診断、耐震改修に助成し、安心して住民生活が送れることに加え、災害時の建物の倒壊を防ぐ。			助成件数 19件		
成 果	成果指標の目標数値	災害時要援護者台帳作成 0人→2,800人		成果指標の実績値 (24年5月末時点)		要援護者登録申請 513人		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：八幡市

果 指 標 ①	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	今後も引き続き自治会に出向いて、制度の説明会を実施していく。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成 果 指 標 ②	成果指標の目標数値	防災活動用資機材等整備 38隊 → 42隊		成果指標の実績値 (24年3月末時点)	44隊	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	新規2隊分の防災活動用資機材、保管庫の整備も実施した。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	<p>男山地域の再生について市民、事業者と協働し、将来を見据えた快適なまちづくりの促進に寄与した。公共施設や消防設備の整備のみならず、個人の住宅やマンション等の耐震化、建替等を推進。ソフト面でも災害時要支援者台帳を整備、市民や自治会等との協働による、災害に強い安心、安全なまちづくりに寄与した。 AEDの設置により、緊急事態への対応を可能とし、子どもから高齢者までの幅広い世代が安心して交流できる場所を提供した。 防災ハザードマップや災害時の避難方法等の周知により、被害の縮小に努めた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業の木造住宅耐震診断事業、木造住宅耐震改修助成事業により市民とともに八幡市全体で減災の意識を高めていく。				
	府と市町村等との連携に資する成果	防災ハザードマップ作成は、京都府防災計画との整合性を図り、今後も進めていく。				
	住民の自治意識を高める成果	防災活動用資機材等整備を自主防災組織に整備し、災害に強いまちづくりを目指す。				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	高層マンションに対応できる30m級梯子付消防車を整備し、広域で救助できる体制を整えた。				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。